

〈金融史パネル〉

危機と革新の金融史
—1920年代、30年代の日本—

危機から革新が生まれ、その革新が更なる危機を招き、そこからまた革新が生起する。こうしたスパイラルな展開を意識しながら、1920年代、30年代の日本を中心に議論を行いたい。各報告では、当時、何が問題となり何か新たに生まれたのかについて、それに関わる研究史も含めてフォローする。